

横浜エフエム放送株式会社
番組審議会報告書

- 開催年月日 平成 30 年 7 月 19 日 木曜日 15 時 00 分～15 時 50 分
- 出席者 番組審議委員：宝田博士委員長、岡崎三奈副委員長、山口宏委員、
横尾典克委員、長谷川篤司委員
FMヨコハマ：兒玉智彦副社長、久富一雄取締役編成部長、加藤直裕制作
2 部長、小林信子編成部マネージャー
- 議題 特別番組「つながる笑顔～サファリパーク Duo 物語～」
(2018 年 5 月 20 日(日) 20:00～21:00)
- 議事の内容 前回(平成 30 年 5 月 17 日開催)の番組審議会より本日まで訂正、取り消しの
放送がなかったこと、また、放送内容に対する苦情・意見もなかったことを
報告しました。そして、議題の番組について、放送同録 CD を聴いた後、各委
員から感想、意見等を聞きました。
- 審議の内容 まず、議題の特別番組「つながる笑顔～サファリパーク Duo 物語～」について、
概要説明に入りました。
- タイトル：特別番組「つながる笑顔～サファリパーク Duo 物語～」
- 放送時間：2018 年 5 月 20 日(日) 20:00～21:00
- 放送形態：録音番組
- 出演：サファリパーク Duo (野村琴音、野村郷詩)、野村修、野村由美子、
長谷川篤司、村山千代アナウンサー ほか
- 企画内容：サファリパーク Duo は、横浜在住の野村琴音さん、野村郷詩さんによる姉
弟 ジャズユニット。琴音さんはトランペット、郷詩さんはピアノを担当して
います。二人はまだ 10 代でありながら、ライブの出演回数は年間 100 回
を越えた 時があるほど大人気です。「音楽でたくさんのハッピーを生み出
す」ことを目的に様々な音楽イベントを手がける NPO 法人・アークシッ
プの代表を務める長谷川篤司さんがサファリ パーク Duo に初めて出会っ
たのは姉の琴音さんが 11 歳、弟の郷詩くんが 6 歳 の時でした。それをき
っかけに、これまで何度もイベントの出演を依頼してきた長谷川さん。その
理由を尋ねると・・・「サファリパーク Duo の演奏を聴くと笑顔になれる」
からだと言います。番組は、長谷川さんがサファリパーク Duo に密着取材。
姉弟、家族、仲間とのつながりから生まれる絆、そして人を笑顔にできる音
楽が持つ力を描いています。

※以上の概要説明に次いで 5 月 20 日(日)のダイジェスト版を聴いて審議に入りました。

各委員より、次の感想、意見等をもらいました。

<各委員講評>

- ◎構成がとてもよくできた番組である。あまり押し付けがましくなく、自然な形で進行していて、非常に良い内容である。ほのぼのとして明るく、音楽が持つ力をこの番組を通じて感じることができる。
- ◎こういう番組だと、「障害を持たれている方」ということをクローズアップして取り上げられることも多いと思うが、この番組は全然違っている。ご両親がすべてを受け入れられていて、自由に育て、楽しくやっている事がとても感じ取れる。好きなことを追求している姉弟の姿、明るい家族の中で、こういったユニットが組めていることはとても良いことである。長谷川さんとの長年の間柄が会話に表れていて、やらせではない自然な形であったのが本当に良い。一度、生でサファリパーク Duo を聞いてみたいと思った。
- ◎楽しい、ほのぼの、明るいという言葉がぴったりの番組である。
弟の郷詩君のしっかりした感じや、お姉さんの琴音さんの明るさがすごく伝わってくる内容である。音がすごく柔らかく聞こえてくるのは、音は、人間性がでるのだろうか・・・とラジオを通じてすごく感じた。周りが2人をすごく見守っていて、育てられている感がある。また、長谷川さんと、郷詩くんの会話は極めて自然である。そこもすごく伝わってきて、ほのぼのとしていて、とても良い。
- ◎「彼らの演奏を聞くと笑顔になれる」というのが番組の柱になっていて、それに準じてうまく構成されていて、とても良い番組である。(障害があるという)視点であるとそのほうが聴いている人が涙を流す方向に行くのかもしれない。しかし、今回は「笑顔になれる」というのが軸になっているので、彼らは音楽で評価されているという内容・構成が見事である。

<局より>

- ◎言葉と音でしか表現できないラジオ番組で、最初に「障害」という言葉を持ってきてしまうと、それを抱えたまま番組を聴いてしまうので、最初からその色はつきたくなかった。こっちからそういう価値観を押し付けるのはやめようと思い、純粹に二人の良さをどこまで番組で表現できるのかと追い求めた結果、この番組が出来上がった。
- 彼らの音楽を聞くとなぜ、こんなに和やかな気持ちになれるんだろうという事をぶらさずに制作した。「スマイル」を聞くと、なぜか泣けてくる。これは、素直に音楽に取り組んでいる姉・琴音さんだからこそ出せる音であり、絶対に他の人にはこの音は出せないと思う。こういうミュージシャンは街にたくさんいる。これからも番組を通じて FM ヨコハマで取り上げていければ良いと思う。家族は、障害があることをそこにあるものとしてだけ受け入れているように思う。我々は、障害があるのにと見てしまいがちだが、音楽は誰でも楽しめるものということに改めて気づき、良い機会になったと思う。

以上、15時50分に審議終了、散会しました。

審議機関の答申または改善意見に： なし
対してとった措置及びその年月日

審議機関の答申または意見の概要： 各委員の意見及び回答を概容でまとめ公表。
を公表した場合におけるその公表の内容、方法、及びその年月日

- ①平成 30 年 8 月 20 日、04：55 から 3 分間、当社で
放送予定。
- ②書面にて自社内に備置き
- ③平成 30 年 8 月 20 日、当社ホームページに掲載予定。
(<http://www.fmyokohama.co.jp>)

その他の参考事項： なし

以上